

1. 課題区分・管理番号 予備課題・26-y 001
2. 研究テーマ名 新省エネルギー規準に対応するゼロエネルギー住宅研究会
3. 研究期間 平成 26 年 8 月 1 日 ～ 平成 27 年 3 月 31 日
4. 研究代表者 工学部／建築学科 (職名)准教授(氏名)関口正男
5. 課題提案者 鵜川興業株式会社

6. 研究成果の概要

下欄には当該研究成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、地域課題研究事業計画書に記載した「研究目的」と「研究計画・方法」に照らし、A4で2～3枚程度で、できるだけ分かりやすく記載願います。文章の他に、研究成果を端的に表す図表を貼り付けても構いません。本学HPにて公表しますので、公表できる内容としてください。

平成 24 年 12 月に改定された新省エネルギー基準によって建物全体の熱損失係数から外皮平均熱貫流率に変わり、建築設備の省エネルギー性能の CEC から一次エネルギー消費量の大小比較に変わりました。このことにより、建築の設計手法や建築施工にも影響を及ぼし、対応する手法が変わったことになります。

本研究会は従来型省エネルギー住宅の設計・施工方法から、新基準に変わったことによる重要な変更点と設計・施工に対する重要点を解説するとともに、実務的解説を実施しました。

本勉強会では三回目、四回目に株式会社イズミシステム設計に協力をお願いし、実務的な補助申請書の作成方法や、国土交通省で使用を推薦している web プログラムの使用方法等について詳細に説明いただきました。

群馬県から発信する省エネルギー建築フォーマットを作成するために、このような勉強会は今回で 3 回目となっている。参加いただいた多くの企業の方々の賛同は得られており、次回の勉強会にも参加したい旨の要望が多数あるが、企業間協力が必要になります。なお、述べ参加人数は 160 人でした。

省エネルギー・創エネルギーを軸に住居者の快適性・健康性、建物の耐久性等に関する勉強会を、今後も実施いたしますのでご期待ください。